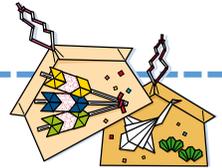


新年あけましておめでとうございます。

令和7年、新しい年を迎え、保護者・地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。旧年中は本校教育の推進に多大なご支援とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年巳年です。蛇は古来より「再生」や「生命力」の象徴とされ、脱皮を繰り返す様子から「無限の可能性」を意味するとも言われています。南っ子には、巳年にちなんで、自らの可能性を信じ、新たな目標に挑戦する勇気を持ち、力強く歩んでほしいと願っています。今年も、桜井南小学校教職員一同、子どもたちの健やかな成長と健康・安全を最優先に、また、子どもたちの成長を力強く支え、一人一人の個性を伸ばせるよう教育活動に邁進していく所存です。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



夢なき者に成功なし

幕末の偉人、吉田松陰さんの教えを紹介します。この人は、江戸時代の終わり、日本が生まれ変わろうとしていたときを生きた人です。身分が低い武士の家に生まれながら、塾を開いて、多くの若者を育てました。幕府から反対されましたが、夢があったから続けることができ、今の日本の近代化に大きく影響しました。

夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし
 実行なき者に成功なし 故に夢なき者に成功なし

これは、吉田松陰さんの言われた有名な言葉です。皆さんはどう思いますか。成功することだけが、よいことだとは思いません。失敗から学ぶことは多いものです。でも、何も考えない、何も計画しない、実行しないで、成功したかどうか分からないよりも、自分がどうしたいのか、考え実行することが大事だと思います。6年生は、中学生になる年です。1年生から5年生もすぐに次の学年を迎えます。

皆さんも、今年やり遂げたいこと、挑戦してみたいことを考えてみましょう。何かに取り組むからこそ、得られるものもあると思います。

勉強、スポーツ、友達と仲良くする、お手伝いをする、小さくてもよいので、考えてみましょう。

以上が、先日の3学期の始業式で子どもたちに話した内容の要約です。しっかりと話を聞いていました。低学年には難しいかもしれませんが、夢や理想がなければ何も始まりません。今年も前向きに着実に進んでいきたいものです。

「1・17」を命の尊さを考える機会に

平成7年1月17日午前5時46分、奈良県でもこれまでに経験したことのない揺れに驚いて目覚めたのを覚えています。「阪神・淡路大震災」あの日から30年が経ちました。昨年のはじめには、能登半島地震があり、今も復旧作業が進まない街の様子に心が痛くなります。また13日には九州で地震があったところです。

学校では、避難訓練や防災教室を実施して、地震をはじめとする自然災害の恐ろしさと災害から「自分の命を守る」ことを学んでいます。そして、今、安全に、平和に生活できていることに感謝して、命の尊さを改めて感じる事ができる人でありたいと思います。

この機会に、ご家庭でも防災対策を見直したり、大きな災害時の家族の連絡を確認したり、お話をしてみてください。



桜井南小学校金管バンドクラブ 全日本小学生金管バンド選手権 2年連続スーパーエクセレント賞受賞!!



昨年の12月22日(日)、大和高田市で開催された「全日本小学生金管バンド選手権」に、桜井南小学校金管バンドクラブが出場しました。2学期末は、インフルエンザが流行し、出場できるか心配しましたが、日本全国から予選を突破し参加した15校の中から、桜井南小学校金管バンドクラブが、見事、スーパーエクセレント賞を獲得しました。おめでとうございます。2年連続のスーパーエクセレント賞は、これまでクラブを支え、応援して下さったすべての方への最高の恩返しだと思います。

演奏を終えた子どもたちの顔は、達成感と充実感に満ちていました。



1月10日の銀世界

前日から心配された雪でしたが、子どもたちにとっては、空からのプレゼントのようでした。登校するとすぐに着替えて運動場に行きました。中休みには普段より多くの子どもたちが運動場で遊んでいました。冷えた手で笑顔で握手を求められましたが、本当に冷たかったです。

